

関西学院大学人権教育研究室主催
国連UNHCR難民映画祭2018 - 学校パートナーズ



Refugee Film Festival

西宮上ヶ原
キャンパス

11月19日(月) 16:50-18:30
関西学院会館 光の間

神戸三田
キャンパス

11月22日(木) 15:10-16:50
アカデミックコモンズシアター

対象: 学生・一般
参加費: 無料



～彼らを突き動かすのは、忘れてはならない悲劇を
伝えていかなければならないという使命感～

上映映画 **I am Rohingya: A Genocide in Four Acts**
(日本語字幕上映)

Meal for Refugees (M4R)を実施します!

Meal for Refugeesとは、日本に暮らす難民から教わった料理を収録したレシピ本「海を渡った故郷の味」のメニューを食べることで、売り上げの一部が認定NPO法人難民支援協会に寄付をする学生有志によるプロジェクトです。この機会にぜひ食べることで難民支援をしてみませんか。

日時: 2018年11月19日(月)～11月22日(木) 計4日間
場所: 西宮上ヶ原キャンパス 食堂「BIG MAMA」・食堂「BIG PAPA」
神戸三田キャンパス 第一厚生棟 食堂「Lunch Box」

《お問い合わせ先》 関西学院大学人権教育研究室 TEL: 0798-54-6720

上映作品

I am Rohingya: A Genocide in Four Acts

監督：ユスフ・ズィーネ

カナダ/2018年/90分/ドキュメンタリー

言語：（音声）英語、ロヒンギャ語（字幕）日本語、英語

ミャンマーから命がけてバングラデシュに避難したロヒンギャ難民たち。やがてカナダのオンタリオ州へ定住し、生活をあらたに立て直そうと奮闘する。14人の若者が、過去に負った拷問、殺人、レイプ、焼討ちといった壮絶な経験に苦しみながらも、地球上で最も迫害を受けている民族といわれるロヒンギャの人々の現実を世界の人々に伝えるために立ちあがった。演劇を通じて、自身の経験、トラウマ、アイデンティティに向き合い、若者たちはその過程で大きく成長していく。彼らを突き動かすのは、忘れてはならない悲劇を伝えていかなければならないという使命感であった。

国連UNHCR難民映画祭2018

世界で連日大きなニュースとなっている難民問題。しかし日本に住む私たちがそのリアルな姿に触れることが難しいのも事実です。本映画祭では世界の各地で今まさに起きている難民の物語を皆様にお届けいたします。過酷な状況、行き場のない怒り、絶望、その中で見出す希望。本映画祭を通じて皆様は何を感じられるでしょうか。この現実を前に何かアクションを起こしたい。この映画祭にご参加いただくことがその第一歩となるかもしれません。国連機関として常に最前線で難民に寄り添うUNHCR。その公式支援窓口として国連UNHCR協会は日本の皆様の想いと力を世界に届けています。この映画祭を機会にぜひ「観る・知る」ことから始めてみませんか。